

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

## 中国の負極材料市場の動向

2026年4月、中国の負極材料市場は安定的に拡大した。需要面では、国内のエネルギー貯蔵プロジェクトの入札が急増したことで蓄電池向け負極材料の需要が拡大した。さらに海外の新エネルギー自動車（NEV）市場に向けとなる動力用負極材料の需要も持続的な成長を見せた。こうした需要の拡大を背景に、負極材料業界のトップ企業では2026年末までの生産計画がすでに埋まっている。一方、中小メーカーは生産規模や技術的制約から受注が伸び悩んでおり、激しい競争下で価格転嫁力の弱さが課題となっている。

なお、4月の負極材料の生産量は27.14万トンで、前年同月比30%増加した。1~4月の合計生産量は106.87万トンに達した。



出典：百川盈孚 (BAINFO)

図1. 月別の負極材料生産量の推移 (2025年1月~2026年4月)

4月のリチウムイオン電池用負極材料の平均価格は、前月比横ばいの3万3,100元/トン（約76.53万円/トン、1元≒23.12円換算）となった。グレード別の価格を見ると、ハイエンド製品が4万2,000~6万5,000元/トン（97.10~150.28万円/トン）、ミドルレンジ製品が2万3,000~3万2,000元/トン（53.18~73.98万円/トン）、ローエンド製品が1万7,000~2万3,000元/トン（39.30~53.18万円/トン）で推移した。なお、黒鉛負極材の価格推移は【図2】の通りである。



出典：百川盈孚 (BAINFO)

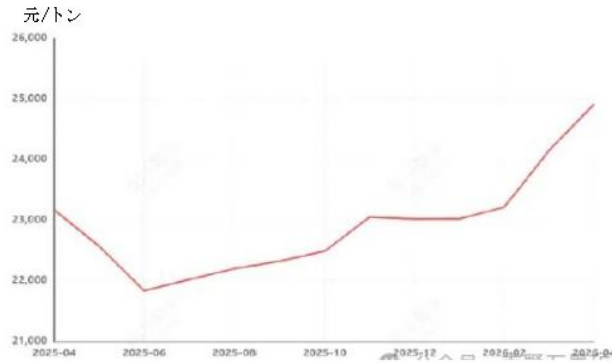
図2. 人工黒鉛負極材と天然黒鉛負極材の価格推移 (2025年4月~2026年4月)

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

4月の負極材料の平均コストは約2万4,914元/トン(57.60万円/トン)となり、前月比3.13%上昇した。原料である中・低硫黄分石油コークスおよびニードルコークスの価格が高値圏で堅調に推移しているほか、黒鉛化加工費も高水準が続いている。このした影響から、負極材料メーカーの生産コストは大幅に増加しており、業界全体で値上げを求める声が高まっている。



出典：百川盈孚 (BAIINFO)

図3. リチウムイオン電池用負極材料のコストの推移 (2025年4月~2026年4月)

表1. 石油コークスの価格

製品別	価格 (元/トン)		
	4月1日	4月27日	増減幅
大慶石化 (1#A)	4,830	4,830	0
錦西石化 (2#C)	4,700	4,800	△100
錦州石化 (2#A)	4,800	4,800	0
撫順石化 (1#A)	5,110	5,110	0

表2. ニードルコークスの生コークスの価格

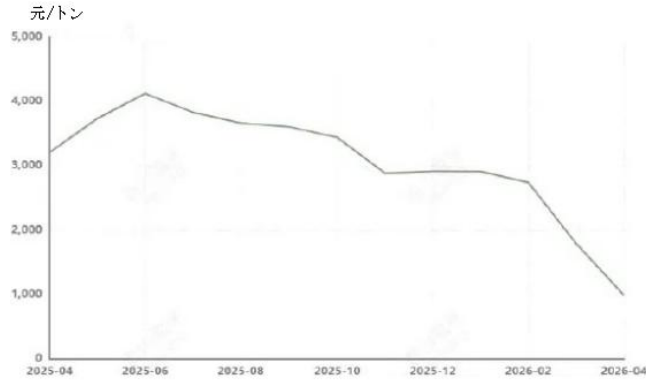
製品別	価格 (元/トン)		
	4月1日	4月27日	増減幅
石油系 NC	6,706~7,500	7,016~7,500	△155
石炭系 NC	7,000~7,500	7,000~7,500	0
負極向け NC	6,156~8,892	6,156~8,892	0

4月の負極材料の平均粗利益は約991元/トン(約2.29万円/トン)にとどまり、前月比44.79%の大幅減となった。このようなコスト上昇と堅調な引き合いを背景に、翌月(5月)の負極材料の取引価格は1トン当たり500~1,500元(1.16~3.47万円/トン)の幅で上昇すると見込まれている。

# CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683



出典：百川盈孚 (BAIINFO)

図 4. リチウムイオン電池用負極材料の粗利の推移 (2025 年 4 月~2026 年 4 月)

情報源：石墨盟